

2017年度 審判委員会活動方針

1. 目的

- (1) 3級審判員の技術・知識を向上させ、ゲームの質を高めることでU12年代の底上げを図る
- (2) 3級審判員を育成し、持続的な上級審判員の拡大に向けた裾野を広げる
- (3) 2級審判員によるゲームコントロールを通してU12年代を高いレベルでチャレンジさせる

2. 具体的内容

【委員長】宮地 一馬
委員会実施事項全般



	【副委員長】佐藤 祐介 強化担当	【委員】宮地 一馬 育成担当	【委員】中川 二郎 配置担当
目標	3級審判員の技術・知識を向上させ、ゲームの質を高めることで札幌地区U12年代のレベルアップを図る。	3級審判資格保持者を育成し、将来にわたり札幌地区U12年代所属の上級審判員拡大に向けた土台作りをする。	2級審判員によるゲームコントロールを通して、札幌地区のU12年代を高いレベルでチャレンジさせるとともに、3級審判員の意識強化を図る。
内容	各区審判委員との連携強化 既存3級審判員の技術向上	3級審判員養成	派遣依頼に基づく、全道・全市大会での審判配置
タスク	各区より3級審判員を3～5名選出し、年間を通してトレーニングをおこなう 審判講習会を年1回以上開催する 審判委員会連絡会議を年3回以上開催する	昇級希望者の50%以上を合格させる	他の種別で審判を年3回以上行い、交流を深めるとともに、審判員として11人制競技規則(副審、第4審判の任務)を再確認する。

1. 審判員の強化・指導

- ① 各区の審判委員と連携し、講習会を開催する
- ② 主審・副審向け審判講習会の企画・実施
- ③ 2級審判員候補者の発掘

2. 審判員の育成・指導

- ① 4級審判員のうち3級上申希望者に対しての講義、各種テストの実施
- ② 3級上申希望者は札幌地区サッカー協会とも連携し、主体的に育成する。

3. 審判員の派遣

- ① 各区より選出された強化メンバーの中から、派遣する
- ② 派遣依頼に基づく、全道大会・全市大会への派遣援助

3. スケジュール

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
強化・指導	各区担当 連携	講習会 企画	講習会 実施								
育成・指導	申し込み	講義・走力	実技・学科								
派遣・配置	審判委員会 連絡会議	審判員の 把握	配置への活用								

4. その他

各チームは4級以上の帯同審判員を置き、大会規定に基づき審判を行うことを義務付ける。

また、3級審判員育成を図ること。

大会において審判にあたる方は下記事項を順守し、練習に励んできた選手たちが真剣に臨むゲームであることを強く意識して審判業務を遂行してください。

札幌地区U12年代においての、技術的・精神的成長を後押しするのも、或いは阻害するのもそのゲームを担当する審判団です。審判員としての自覚を持ち選手に接してください。

- (1) 試合では、審判服を着て、ワッペン【胸章・フェアプレー章（左袖）・リスペクト章（右袖）】を付けること義務付ける。（審判員として恥ずかしくない身だしなみを心掛ける）
- (2) 顔写真付きの審判員証を携行し、担当の試合前に本部へ提示する。
- (3) 試合前の審判打ち合わせ及び審判団内で、審判証のチェックをおこなう。
- (4) 担当の試合は必ず、試合後に審判報告書の記入と提出を義務付ける。